

第2期鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和5年度実績に係る効果検証結果 総括表

検証会議の意見（施策に対する評価）

- A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
- B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
- C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

検証会議による検証結果

積極・適応戦略		1 稼げるしごとで活力を「つくる」	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	重点戦略			合計
						1 “世界に選ばれるまち KAGOSHIMA” 推進プロジェクト	2 “次代につなぐふるさと担い手” 創出プロジェクト	3 “デジタル技術で豊かなまち” 創造プロジェクト	
施策に対する評価	A	4	7	4	8	1	2	2	28
	B	1	2	1	1	0	0	0	5
	C	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	9	5	9	1	2	2	33

A：現状の取組を推進すべき B：取組の一部を改善する必要がある C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべき

KPIの評価

- a：十分に達成されている
- b：概ね達成されている
- c：あまり達成されていない

(参考) KPIの評価

積極・適応戦略		1 稼げるしごとで活力を「つくる」	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	重点戦略			合計
						1 “世界に選ばれるまち KAGOSHIMA” 推進プロジェクト	2 “次代につなぐふるさと担い手” 創出プロジェクト	3 “デジタル技術で豊かなまち” 創造プロジェクト	
KPIの評価	a	3	6	3	7	0	1	1	21
	b	1	0	0	2	1	1	1	6
	c	1	3	2	0	0	0	0	6
合計		5	9	5	9	1	2	2	33

○ KPIの評価は、内部基準に基づく絶対評価である。

積極戦略1 稼げるしごとで活力を「つくる」

＜摘要＞KPIの評価
 a：十分に達成されている
 b：概ね達成されている
 c：あまり達成されていない
 -：評価なし

検証会議の意見
 A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価			
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)					
1	1 稼げるしごとで活力を「つくる」	(1) 地域産業の稼ぐ力の強化 ① 地域産業の競争力強化	産業振興、創業支援、新事業展開支援資金の利用件数 本市の事業活用による商談成約件数 6次産業化・農商工連携等によってつくられた新商品数	実績値 (R5) 587 23 20	対目標値 27.2% 14.4% 40.0%	評価 (R5) c	KPIについては、あまり達成されていない。これは、県伴走支援型借換支援資金など県の融資制度が広く活用されたことにより、市の融資制度の利用件数が伸びなかったことに加え、自社による海外展開の取組や関係機関等の補助制度の活用などにより、市の事業を活用した商談成約件数が伸びなかったことによるものである。 R5年度の取組状況としては、融資制度の取扱金融機関等との意見交換や商店街等に対する各種支援、中小企業者等への販路拡大支援のほか、若手後継者によるベンチャー型事業承継を推進するため、新規事業、業態転換、新市場参入など事業承継を契機にした新たな領域への挑戦を支援する講習会等を開催するとともに、支援機関等と連携し、国のネットワーク等を活用した第三者承継を支援した。 また、6次産業化・農商工等連携を推進するため、商品開発のできる施設の供用を開始したほか、研修会の開催や補助事業の実施により新商品開発等の取り組みを支援した。	引き続き、経営基盤の安定・強化に向けた融資制度の運営や商店街等の活性化に向けた支援を行うほか、セミナー等を開催し、若手後継者による新事業展開等や第三承継を支援する。 6次産業化・農商工等連携を推進するため、商品開発のできる施設の運営維持や加工等の研修会を実施するなど、6次産業化に取組む意欲がある生産者等を支援する。 また、農商工等連携に関する研修会や関係団体等との意見交換会を実施するほか、情報の収集・提供に努め異業種間のマッチングを支援する。	KPIについては、県の融資制度が広く活用されたことにより、市の融資制度の利用件数が伸びなかったことに加え、自社による海外展開の取組や関係機関等の補助制度の活用などにより、市の事業を活用した商談成約件数が伸びなかったことから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、本市の融資制度や事業の活用促進に向け、県の融資制度が広く活用されている要因を分析するとともに、制度内容の見直しも含め、より効果的な支援策を検討すべきである。	B
2	1 稼げるしごとで活力を「つくる」	(1) 地域産業の稼ぐ力の強化 ② 新事業・新産業の創出支援	新たな事業展開に取り組む事業者数	実績値 (R5) 50	対目標値 45.5%	評価 (R5) a	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の取組状況としては、新サービス等の創出に向けた助成やセミナー等各種支援を実施するとともに、マークメイザンにおけるセミナーやワークショップの開催等を通じたクリエイティブ人材の育成やコミュニティ形成の取組、情報発信等により、クリエイティブ産業の育成・支援に取り組んだほか、SOHO事業者を育成・支援する拠点施設であるソーホーかごしまの運営やインキュベーションマネージャーによる相談支援等を通じて、新規創業者等の育成に取り組んだ。	引き続き、新サービス等の創出に向け、各面から支援するとともに、マークメイザンの企画運営や市内クリエイターの成長を促すための新たなイベントの開催、補助金交付等を通じて、クリエイティブ人材の育成、コミュニティ形成、マッチング支援、情報発信などクリエイティブ産業の育成支援に取り組む。 また、ソーホーかごしまを拠点として、新規創業者等の育成・支援を引き続き行い、地域産業の稼ぐ力の強化につなげる。	KPIについては、新事業・新産業の創出支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、新規創業者のフォローアップ及び創業に至らなかった事業や廃業に至った要因分析に取り組んでいただきたい。	A
3	1 稼げるしごとで活力を「つくる」	(1) 地域産業の稼ぐ力の強化 ③ 人材の確保・育成	本市支援による新規創業者数 空き店舗等を有効活用して事業やまちづくり活動を行った者の数 農林水産業の新規就業者数	実績値 (R5) 207 3 44	対目標値 115.0% 20.0% 29.3%	評価 (R5) a	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の取組状況としては、SOHO事業者を育成・支援する拠点施設であるソーホーかごしまの運営やインキュベーションマネージャーによる相談支援やセミナーの実施等により、新規創業者の育成を図るとともに、専門員(アドバイザー)の派遣やセミナーの開催を通じて空き店舗等の有効活用を行う人材の確保・育成に取り組んだ。 また、新規就農者の確保・育成を図るため、就農相談の内容に応じた技術研修、農地の斡旋、就農に必要な設備等への支援の実施や、就農直後の経営確立を支援する経営開始資金を交付したほか、かごしま漁業学校等の周知や林業就業者の就労条件の改善に努めるなど、農林水産業の新規就業者の確保・育成に取り組んだ。 さらにはセミナーの実施や女性活躍アドバイザーの配置等により女性活躍の推進を図ったほか、UIJターンによる就業・起業者の創出のため移住支援金の支給や、UIJターンイベントやお試し移住等の実施によるクリエイティブ人材の誘致にも取り組んだ。 これら各面からの幅広い取組により、地域産業の稼ぐ力の強化につながる人材の確保・育成が図られた。	引き続き、ソーホーかごしまを拠点として新規創業者等を育成・支援するとともに、専門員の派遣や訓練機関等への派遣研修等に対する支援、セミナー開催による人材育成やマッチング支援により空き店舗等の有効活用を促進するほか、就農相談や経営開始資金の交付など各面からの支援に取り組む。 また、若者の流出抑制の視点も踏まえた経営者・管理職向けのセミナーや女性のためのキャリアデザインセミナーを継続的に実施するなど、関係部署と連携を図りながら女性の活躍促進に取り組む。 さらに、雇用機会のさらなる拡大に向け、東京圏から移住し、中小企業等に就業・起業またはテレワークを行っている場合に、移住支援金を支給するとともに、東京圏に在住かつ東京圏内のキャンパスに在学する大学生が、鹿児島県内の企業に就職し鹿児島市に移住する場合には、地方就職支援金を支給することなどにより、UIJターン人材のさらなる誘致、確保に繋げるとともに、引き続きクリエイティブ人材の誘致に取り組む。	KPIについては、人材の確保・育成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、移住に至らなかった要因分析を行うほか、県外在住の県出身者が鹿児島島の情報を入手しやすい環境を整えるなど、人材確保に向けた取組を積極的に進めていただきたい。 また、一部のKPIについて、短期間で目標値を上回った要因や今後の見直しなどを分析すべきである。	A

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)																			
4	1 稼げるし ことで活力を 「つくる」	(2) 魅力的で安定した雇用の場の確保 ① 企業立地の推進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 8</td> <td>40</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 8	40	件 (5年間)	企業立地件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18</td> <td>45.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	18	45.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の取組状況としては、首都圏における展示会へのブース出展や広告等を用いた企業立地促進補助制度のPR、市外企業に対するオンライン面談の活用、市内企業に対する訪問など、企業立地を推進する活動を積極的に行った。 また、連携中枢都市圏構成市で連携したPRや、立地企業の雇用確保を支援するためのハローワークと連携した立地企業の企業説明会などを実施した。	引き続き、積極的な企業訪問等を行い、補助制度や都市の魅力など本市の強みをPRし、企業立地のさらなる推進を図るとともに、フォロー訪問による情報交換等を通じて状況把握や雇用確保への支援を行う。 また、連携中枢都市圏の構成市及び県との連携を図りながら企業立地を推進する。	KPIについては、企業立地の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、積極的に企業訪問やフォローアップを行い、本市の特性をPRするとともに、テレワーク等を前提とした企業への設備投資等に対する支援を進めるほか、連携中枢都市圏の構成市や県との連携も強化していただきたい。	A					
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R2) 8	40	件 (5年間)																						
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																						
18	45.0%	a																						
5	1 稼げるし ことで活力を 「つくる」	(2) 魅力的で安定した雇用の場の確保 ② 若者、女性、高齢者等の就労支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 12</td> <td>60</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> <tr> <td>(R2) 273</td> <td>1,365</td> <td>人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 12	60	件 (5年間)	(R2) 273	1,365	人 (5年間)	連携中枢都市圏合同企業説明会での採用者数 本市の奨励金を活用して雇用される人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>25.0%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>238</td> <td>32.4%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	5	25.0%	b	238	32.4%	KPIについては、概ね達成されている。 R5年度の取組状況としては、雇用奨励金など本市の助成金を活用して障害者や高齢者等の雇用推進を図ったほか、若年者の雇用機会の拡大のため、連携中枢都市圏合同企業説明会を開催した。 また、経営者・管理職向けのセミナーや女性を対象とした職場見学会、就活応援講座を実施するなど、女性活躍の意義についての理解を深め、その取組を促進した。	連携中枢都市圏合同企業説明会を半日開催から一日開催に変更することで、参加企業数を拡充するとともに、労働局等の関係機関とも連携を図りながら、若い世代をはじめ、女性や高齢者等の就労促進に努める。 また、経営者・管理職向けのセミナーや女性のためのキャリアデザインセミナーを継続的に実施し、女性の活躍促進に取り組むとともに、関係部署とも連携を図りながら、女性が働きやすい環境整備に努める。	KPIについては、若者、女性、高齢者等の就労支援に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、奨励金を活用して雇用された人の就労状況について追跡調査を行うほか、持続的な雇用環境を整えるため、経営者向けのセミナーを開催するなど、環境整備にも努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R2) 12	60	件 (5年間)																						
(R2) 273	1,365	人 (5年間)																						
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																						
5	25.0%	b																						
238	32.4%																							

積極戦略2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

<概要>KPIの評価
 a : 十分に達成されている
 b : 概ね達成されている
 c : あまり達成されていない
 - : 評価なし

検証会議の意見
 A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)															
6	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1) 若い世代の経済的安定 ① 若者の就業支援	鹿児島公共職業安定所(ハローワークかごしま)管内の新規学卒者の県内就職率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 65.1</td> <td>66.6</td> <td>%</td> <td>62.4</td> <td>-180.0%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 65.1	66.6	%	62.4	-180.0%	c	<p>KPIについては、あまり達成されていない。 これは新型コロナウイルスの影響で、R2年度以降若者の県内就職志向が高まっていたものの、R5年度から5類へ移行し、若者の県外就職が増加してきたことによるものと考ええる。</p> <p>R5年度の取組状況としては、高校生を対象とした就職セミナーや大学生に向けた地元企業の魅力発信、学生等を対象とした起業セミナーや起業家による出前講座の開催など、若者の就業支援、起業支援に着手に取り組んできた。</p>	<p>引き続き、若者の就業支援、起業支援に取り組み、若者の職場定着について、関係機関と連携を図りながら状況把握に努め、職場定着に関する国の助成金の広報など、連携した取組を進めていくとともに、高校生や新就業者を対象に開催するセミナー等により、勤労観・職業観の醸成を図る。</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、若者の県外就職が増加してきたことから、あまり達成されていない。全般的には取組を推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、高校生ステップアップセミナー等の開催及びフォローアップに努めるほか、若者に「鹿児島で働くこと」の魅力を感じてもらおう取組など、産学官が緊密に連携した就業支援策を推進すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)															
(R2) 65.1	66.6	%	62.4	-180.0%	c															
7	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1) 若い世代の経済的安定 ② 貧困の世代間連鎖の解消	就労支援した若者等の就職者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 89</td> <td>545</td> <td>人 (5年間)</td> <td>94</td> <td>17.2%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 89	545	人 (5年間)	94	17.2%	c	<p>KPIについては、あまり達成されていない。 これは、新型コロナウイルス感染症の影響による就労支援の制限がなくなり、前年度と比べて就職者数は増加したものの、若年者の相談件数が、それ以外の年齢層に比べて比較的少なく、就職数の確保につながっていないことが要因であるものと考ええる。</p> <p>R5年度の取組状況としては、「生活・就労支援センターかごしま」内の生活自立支援センターとハローワーク窓口の連携により、若者等への就労支援をワンストップで行ったほか、生活困窮世帯・ひとり親家庭等の小学5・6年生及び中学生への学習支援(学習会)を、大学生や教員OB等と協力して実施した。</p> <p>母子家庭等自立支援事業では、医療事務、調剤薬局事務講座の実施や、ひとり親家庭等相談会で就労相談等を行い、就業支援を図った。</p> <p>かごしま子ども応援ネットワーク推進事業では、ホームページの開設及び勉強会の開催により、子どもを支援する活動の促進に努めた。</p> <p>子どもの未来応援条例推進事業では、条例の広報・周知啓発を図り、子どもを社会全体で守り育てるという気運の醸成に努めた。</p>	<p>「生活・就労支援センターかごしま」によるワンストップでの支援体制を充実するとともに、引き続き、関連施策の広報・周知を進め、関係機関と連携し、取組の推進を図っていく。生活困窮者等の就労状況についても、引き続き、追跡調査を実施する。</p> <p>母子家庭等自立支援事業で実施する講習会については、ひとり親家庭や企業双方でニーズの高い資格を把握し、ひとり親の就業促進を図るため、講座内容の検討を行う。</p> <p>子どもが生まれた環境に左右されず、夢や希望を持てる社会の実現を目指し制定した「鹿児島市子どもの未来応援条例」について、周知・啓発に取り組む。</p>	<p>KPIについては、若者の就労相談件数が比較的少なく、就職数の確保につながっていないことから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、ひとり親家庭・生活困窮者等に対する支援をさらに充実させるとともに、引きこもりの若者やヤングケアラーに対する支援にも取り組むほか、自主的に動けない方へのアプローチも配慮しながら取組を推進すべきである。 また、④KPIについては、達成されていない要因を分析し、対応を検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)															
(R2) 89	545	人 (5年間)	94	17.2%	c															
8	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2) 結婚の希望の実現 ① 次世代を担う若者のライフプランニング支援	ライフデザインセミナー参加者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 655</td> <td>4,500</td> <td>人 (5年間)</td> <td>2,178</td> <td>48.4%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 655	4,500	人 (5年間)	2,178	48.4%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の取組状況としては、大学・企業等と連携してライフデザインセミナー・シンポジウムを開催し、次世代を担う若者に対し、今後のライフデザインを描けるように意識啓発に取り組んだ。 また、高校生を対象に将来、結婚し、家庭を持つことの意義や仕事などをあわせた人生設計について、理解を深めることを目的としたセミナーを開催し、R5年度からの新たな取り組みとして、ファイナンシャルプランナーによる家計に関する講話を実施し、取組の充実を図った。なお、いずれの取組も男女共同参画の視点や人生の選択は個人の自由によるもので、一定の価値観を押し付けることのないように配慮し実施した。</p>	<p>引き続き、幅広い若年層等へのライフプランニング支援に努めるなど、結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成に取り組んでいく。</p>	<p>KPIについては、次世代を担う若者のライフプランニング支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、過去の開催実績を踏まえ、若者の心に響く質の高いセミナーや、妊娠・出産に対する男性の理解促進に向けたセミナーなどの開催も検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)															
(R2) 655	4,500	人 (5年間)	2,178	48.4%	a															

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)																				
9	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2) 結婚の希望の実現 ② 結婚への支援	婚活事業への参加者の満足度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 86.1</td> <td>90.0</td> <td>%</td> <td>84.6</td> <td>94.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 86.1	90.0	%	84.6	94.0%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、出会いの場の提供のために、参加者アンケートの結果等を参考にクッキングやe-Sportsなどをテーマにした出会いサポートイベントを開催した。</p> <p>またR5年度から新たに、企業・団体間交流・出会いサポート事業を実施し、企業・団体を母体とした交流会を行うことで、結婚を希望する方へ新たな出会いの場を提供した。</p> <p>結婚相談所の運営を通じて、出会いの場を提供するとともに、マリーサポートカフェや、所員のスキルアップ研修、婚活アドバイザーによる専門相談サービスを実施し、結婚を希望する男女の支援に取り組んだほか、R5年度からの新たな取組として、登録者へのメール配信(婚活ワンポイントアドバイス)等を実施した。</p> <p>また、市営住宅の入居者募集時に、新婚世帯等への優遇措置を講じるとともに、新たに結婚新生活スタートアップセミナーを開催し、結婚新生活への支援の取組の充実を図った。</p>	<p>出会いの場の提供については、引き続き、より効果的な方法等を検討し、各種イベントを開催するなど、積極的に取り組むほか、企業・団体間交流・出会いサポート事業は、更なる広報強化を行い、登録団体の増を図る。</p> <p>結婚相談所については、登録者数や婚約成立数の増加に向け、さらなる周知広報やAIマッチングシステムの導入に取り組むなど、利便性の向上を図り、結婚を希望する方の婚活をサポートする。</p> <p>また、今後も引き続き、新婚世帯等の市営住宅への入居支援や、スタートアップセミナーの参加者の増に向け、効果的な広報・周知等を検討する。</p>	<p>KPIについては、結婚への支援に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、現状の取組を推進するほか、結婚相談所のオンライン対応等による利便性の向上に努めていただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 86.1	90.0	%	84.6	94.0%	a																				
10	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	乳幼児健康診査の受診率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 97.8</td> <td>100.0</td> <td>%</td> <td>98.0</td> <td>98.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 97.8	100.0	%	98.0	98.0%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、子育て世代包括支援センターの体制整備後も、母子保健支援員や発達支援専門員の配置を行うなど、センターとしての機能の強化を図ってきた。</p> <p>また、妊娠から出産子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と出産・子育て応援金給付による経済的支援を一体的に実施する出産・子育て応援事業を実施し、安心して出産・子育てができるような環境づくりを推進した。</p> <p>さらに、妊産婦のメンタルケアとして、産婦健診や産婦支援小児科連携により支援の必要な対象者を地域へつなぐ体制を整えたほか、不妊治療、不育症治療に対する助成を行った。</p> <p>これらの取組により、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実が図られた。</p>	<p>R6年度より母子保健機能と児童福祉機能の連携強化を目的に子育て世代包括支援センターからこども家庭センター(母子保健機能)へ変更した。今後は更に関係機関と連携を図り、妊娠からの相談支援、産後の健康診査や産婦支援小児科等相談を実施するなどして実情の把握に努め、地域での切れ目のない支援の充実に取り組む。</p> <p>これまで同様、妊娠から子育て期におけるハイリスク家庭の把握及び支援の充実、訪問指導時の問診票等使用によるハイリスク家庭の把握に努め、産科、精神科、小児科等と連携し、支援を行う。また、不妊専門相談センターによるさらなる相談支援の充実を図るほか、引き続き不妊治療の保険診療に係る自己負担について助成を行う。</p> <p>妊娠・出産への支援に加え、子どもの成長・発達に対する不安を軽減できるように、乳幼児健診の受診率の向上を図る。</p>	<p>KPIについては、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、乳幼児健康診査の未受診者へのフォローアップに取り組むとともに、相談支援の充実など、安心してこどもを生み育てられる環境づくりに取組んでいただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 97.8	100.0	%	98.0	98.0%	a																				
11	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ① 子育て支援施設の整備・充実	保育所等の待機児童数 保育所等への入所率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R3) 82</td> <td>0</td> <td>人</td> <td>21</td> <td>74.4%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(R3) 94.9</td> <td>100.0</td> <td>%</td> <td>93.7</td> <td>93.7%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R3) 82	0	人	21	74.4%	a	(R3) 94.9	100.0	%	93.7	93.7%	<p>KPIについては十分達成されている。</p> <p>R5.4時点における保育所等の待機児童数はR4.4の136人から115人減の21人と大きく減少した(R6.4時点では0人を達成)。保育所等への入所率は年度末にかけて利用が増える0歳児を除き、市全体で100%を超えている。</p> <p>R5年度の取組状況として、地域子育て支援拠点施設については、武・田上地区に新たな地域子育て支援センターを設置し、配置見直しに基づく事業所公募を行ったほか、すこやか子育て交流館の1回あたりの専門相談時間を30分から45分へ増やす等、相談体制の充実を図った。</p> <p>また、安全な教育・保育環境の充実を図るため、引き続き、認可外保育施設への巡回支援指導や保育所等における感染症拡大防止のための支援を行い、利用児童の安全確保及び保育環境の改善、継続的な事業実施のための環境整備に努めた。</p> <p>就学前児童の待機児童対策においては、第二期鹿児島市子ども子育て支援事業計画(令和5年3月 第5章改定版)に基づき、840人分の保育の受け皿確保に向けて保育所等の整備などに取り組み、2・3号定員395人分を確保した。(開所・定員増はR6.4付)。</p> <p>また、保育士等の安定的確保や職場定着等を図るため、就職奨励金の給付など、これまでの取組に加え、民間保育士等処遇改善補助金の創設や保育士等奨学金返済補助金の拡充を行った。</p>	<p>子育て支援施設の整備・充実については、第二期鹿児島市子ども子育て支援事業計画(令和5年3月 第5章改定版)に基づき、既存施設を活用した利用定員の拡大及び保育所等の整備を進めるほか、さらなる保育士等の安定的確保や職場定着等を図るため、本市独自の民間保育士等の処遇改善や、ICT導入に係る補助などによる業務負担軽減などに取り組み、引き続き、保育の受け皿と保育士等の確保を一体的に進めていく。</p> <p>加えて、令和7年度以降の次期計画について、待機児童数ゼロを安定的に維持していくための対策を盛り込めるよう検討を進めていく。</p> <p>地域子育て支援拠点施設については、施設職員のスキルアップや施設間の連携を図り、子育て親子の交流の促進等を行うほか、市内13地域への地域子育て支援センターの設置に向けて取り組むなど、よりきめ細やかな支援体制の充実を努める。</p>	<p>KPIについては、子育て支援施設の整備・充実に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、保育所サービスの均質化を考慮するとともに、引き続き、保育士の処遇改善、働き方のケアや相談しやすい環境に向けた取組も推進していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R3) 82	0	人	21	74.4%	a																				
(R3) 94.9	100.0	%	93.7	93.7%																					

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)														
12	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ② 放課後における児童の健全育成 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R3) 42</td> <td>0</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R3) 42	0	人	児童クラブの待機児童数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64</td> <td>-52.4%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	64	-52.4%	c	KPIについては、あまり達成されていない。 児童クラブについては、共働き家庭の増加等によりすべての学年において利用希望が増加しており、特に待機児童が発生した校区では、小学校低学年の利用希望が高く、高学年の利用ができなかったことが要因と考えられる。 R5年度の取組状況としては、待機児童解消のため、計画的にクラブの整備を進めたほか、あわせて、そこで働く支援員等への処遇改善や業務負担の軽減を図り、人材確保につながる取組を行った。 新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、市内78校中73校で放課後子ども教室を実施した。	児童クラブについては、校区ごとの需要予測の精度を高め、将来待機児童が見込まれる場合には、民間クラブによる事業展開や運営委員会による柔軟な受け入れなど地域の方々と連携を図りながら受け皿確保に取り組んでいく。また、職員募集について、効果的な情報発信を行うとともに、引き続き、処遇改善やICTを活用した業務負担の軽減など人材確保につながる取組を進めていく。 新・郷中教育推進事業では各小学校に放課後子ども教室を開設できるよう努め、今後も、充実した学習や体験・交流活動等に取り組む。	KPIについては、共働き家庭の増加等によりすべての学年において利用希望が増加しており、なかでも小学校低学年の利用希望が高く、高学年の利用ができなかったことによりあまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、児童クラブにおける支援員の確保と処遇改善に努めるとともに、軽度の障害のある児童に対する放課後のケアなど、支援の充実も検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R3) 42	0	人																	
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																	
64	-52.4%	c																	
13	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ③ 子育て世帯への経済的支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 18.8</td> <td>20.4</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 18.8	20.4	%	出生数に占める第3子以降の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21.5 *</td> <td>168.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	21.5 *	168.8%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の取組状況としては、子どもの保護者に対し、医療費の一部を助成した。 また、多子世帯への経済的負担軽減を図るとともに、保育所等を利用している3～5歳及び住民税非課税世帯の0～2歳の保育料の無償化を継続したほか、就学・通学の援助、奨学資金の貸付による保護者の経済的負担軽減や子育て世帯向けの市営住宅の整備を行った。 これらの取組により、子育て家庭の生活の安定に向けた経済的支援を図った。	今後も引き続き、子育て世帯の経済的負担軽減に努めるとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行う。 また、県の補助制度であるこども医療費助成制度について、中学3年生までは、所得に関わらず現物給付方式(窓口負担ゼロ)を導入することを引き続き県へ要望していく。	KPIについては、子育て世帯への経済的支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、医療費助成の現物給付方式の導入を積極的に進めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2) 18.8	20.4	%																	
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																	
21.5 *	168.8%	a																	
14	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(5) 仕事と子育ての両立 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 99</td> <td>550</td> <td>人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 99	550	人 (5年間)	男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとしたセミナー等の受講者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>266</td> <td>48.3%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	266	48.3%	a	KPIについては、十分達成されている。 R5年度の取組状況としては、男女共同参画情報誌やワーク・ライフ・バランス推進のためのチラシを作成・配布し、ワーク・ライフ・バランスの広報啓発を図ったほか、市内の事業所に対し、WLB推進アドバイザーを派遣し、具体的な取組支援を行った。 また、女性活躍推進セミナーとイクボス推進会議を合同開催し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の先進事例を紹介するとともに、他企業の取組に関する情報の共有を行ったほか、「イクボスアワード」及び「イクメンの星」(R5年度受賞:2社、2名)を表彰するなど、仕事と子育ての両立のための機運の醸成やイクボス推進同盟加盟企業・団体数の増加に努めた。 これらの取組により、仕事と子育ての両立のための意識啓発及び環境整備が図られた。	ワーク・ライフ・バランスの推進について、引き続き、男女共同参画情報誌や労政広報紙等による周知・啓発に努めていく。 また、引き続きイクボス推進同盟の参加企業・団体の増加に努めるとともに、仕事と子育ての両立のための意識啓発及び環境整備を図っていく。	KPIについては、仕事と子育ての両立に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、テレワークの導入等、新型コロナウイルス収束後の変化にも対応できるシステム作りのほか、セミナー受講やイクボス推進同盟への加盟による効果など周知広報に取り組み、仕事と生活を両立しやすい環境整備を推進していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2) 99	550	人 (5年間)																	
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																	
266	48.3%	a																	

積極戦略3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」

＜概要＞KPIの評価
 a：十分に達成されている
 b：概ね達成されている
 c：あまり達成されていない
 -：評価なし

検証会議の意見
 A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)															
15	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(1) 個性豊かな資源の価値向上 ① オンリーワンの魅力創出	1人1泊当たりの観光消費額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R元) 28,800</td> <td>31,000</td> <td>円/人泊</td> <td>25,000</td> <td>-172.7%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R元) 28,800	31,000	円/人泊	25,000	-172.7%	c	<p>KPIについては、あまり達成されていない。これは、観光関連業界の人手不足による観光需要の取りこぼしや、観光消費単価の高い外国人観光客の回復が遅れていることなどによるものと考えられる。</p> <p>R5年度の取組状況としては、桜島・錦江湾ジオパークの魅力・特性を生かしたジオツアーや10周年記念イベント、首都圏の飲食店と連携した食の都かごしまフェア、eスポーツやサイクルツーリズムの推進につながるイベントの実施、かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会や鹿児島マラソンの開催、かごしま水族館や平川動物公園等の観光施設における魅力づくりに取り組んだ。また、企業版ふるさと納税を活用したスポーツ施設の整備やプロスポーツチームの試合への無料招待等を行ったほか、特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会を開催した。</p> <p>これらの取組により、本市の特性を生かしたオンリーワンの魅力創出を図った。</p>	<p>本市の個性豊かな資源の価値向上を図るため、引き続き、オンリーワンの魅力創出に向けた取組を進める中で、新たに桜島における自然体験型観光施設整備に向けた基本計画の策定、平川動物公園遊園地・錦江湾公園のリニューアルに向けた基本構想の策定、グリーンツーリズム高付加価値化事業、西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクト推進事業等を実施するほか、VR・AR、アプリなどを活用した魅力向上を図る。また、R7年の世界遺産登録10周年に向けて記念イベント等の検討を行うとともに、維新ふるさと館リニューアルの検討、スケートボード等専用施設整備に係る検討等に取り組む。</p>	<p>KPIについては、観光関連業界の人手不足による観光需要の取りこぼしや、観光消費単価の高い外国人観光客の回復が遅れていることなどにより、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、インバウンドの回復を見据えながら、SNSを通じた国内外への情報発信の充実を図るとともに、県や周辺自治体等と連携しながら、交流人口や観光消費額の増加に向けて取り組むなど、本市の稼ぐ力の強化に努めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)															
(R元) 28,800	31,000	円/人泊	25,000	-172.7%	c															
16	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(1) 個性豊かな資源の価値向上 ② 地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用	景観形成に向けて開催したイベント等に参画した市民の数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 95</td> <td>750</td> <td>人 (5年間)</td> <td>353</td> <td>47.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 95	750	人 (5年間)	353	47.1%	a	<p>KPIについて、十分に達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、まちなかのにぎわい創出・回遊性や夜間景観の形成を図るために、まちなか夜間景観形成事業の取組を開始し、夜間景観に関するワークショップや実証実験を行った。また、景観づくりに興味のある市民等を対象に、出前トークを開催し、景観に対する意識の高揚を図った。</p>	<p>引き続き、鹿児島県の特性を生かした景観形成の促進を図るために、意識の高揚を目的とした、市民や地域住民等との協働による取組を進める。</p> <p>歴史景観エリアにおいて、新たににぎわい創出や愛着と誇りが持てる夜間景観の形成を図るために、モデル箇所の整備や基本計画の策定に向けた取組を進める。</p>	<p>KPIについては、地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、地域住民の理解促進を図り、連携しながら取組を進めるとともに、夜間景観の充実など、地域特性を生かした景観形成に取り組んでいただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)															
(R2) 95	750	人 (5年間)	353	47.1%	a															
17	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(1) 個性豊かな資源の価値向上 ③ 花や緑、公園緑地の充実	市民1人当たりの都市公園面積	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 7.9</td> <td>8.1</td> <td>m²/人</td> <td>8.05</td> <td>75.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 7.9	8.1	m ² /人	8.05	75.0%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、武岡公園の整備に向けた用地取得等を行ったほか、街路樹の植替や軌道敷緑化の維持管理等を行うとともに、緑化推進イベントの開催や甲突川の桜並木の再整備に向けた樹木の実態調査を行うなど、協働による緑化活動の促進や開発行為に伴い整備された公園の開設による身近な公園等の創出を行った。</p> <p>これらの取組により、花や緑、公園緑地が充実し、個性豊かな資源の価値向上が図られた。</p>	<p>個性豊かな資源の価値向上を図るため、引き続き、武岡公園の整備や緑の快適環境の維持等を行うほか、甲突川の桜並木の再整備に向けた取組を行うなど、花や緑、公園緑地の充実に取り組む。</p>	<p>KPIについては、花や緑、公園緑地の充実に向け、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、KPIについて、都市公園面積と人口推移の両方を考慮しながら、適切に評価を行う必要があるほか、花や緑、公園緑地の充実による地域の魅力向上や、武岡公園の整備に向けた取組も進めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)															
(R2) 7.9	8.1	m ² /人	8.05	75.0%	a															

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																						
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)																								
18	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(2)ひとが集うまちなか環境の充実 ① 観光客受入体制の充実 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 46.3</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 46.3	100.0	%	知人に鹿児島市への旅行を勧めたい観光客の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47.7</td> <td>2.6%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	47.7	2.6%	c	KPIについては、あまり達成されていない。 これは、観光関連業界の人手不足により、宿泊・飲食施設等のサービスの低下やタクシーの減車、バス等の減便など、観光客への受入体制の充実が十分に図られなかった点もあり、本市の観光に不満・不便を感じる方が相対的に増えたことなどによるものと考えられる。 R5年度の取組状況としては、稼ぐインタープリターの育成やボランティアガイドによるまち歩きガイドツアーに取り組むとともに、特別国民体育大会等に参加する選手等に対してホスピタリティあふれる受入を行った。また、鹿児島市観光案内所(天文館)や中央駅総合観光案内所等の一体的な運用や観光案内板の板面の一部更新等、観光案内機能の強化に取り組んだ。ユニバーサルツーリズムの推進については、特別全国障害者スポーツ大会に向け、受入研修や飲食事業者のバリアフリー化を実施した。磯新駅については、磯新駅設置協議会とJR九州との新駅設置工事に関する協定締結や関係機関との協議など、経済団体や県などと連携した取組を促進した。 これらの取組により、観光客受入体制の充実を図った。	ひとが集うまちなか環境の充実を図るため、引き続き、高いスキルの観光ガイドの育成や市民ぐるみのおもてなし、ユニバーサルツーリズムの推進、観光案内機能の強化など、観光客受入体制の充実に取り組む。また、R7年3月に予定されている仙巖園駅の開業に向け、駅前広場の整備を進めると共に、機運醸成などについて関係機関との連携を図る。	KPIについては、観光関連業界の人手不足により、宿泊・飲食施設等のサービスの低下やタクシーの減車、バス等の減便など、観光客への受入体制の充実が十分に図られず、本市の観光に不満・不便を感じる方が相対的に増えたことなどにより、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、観光業界の人手不足解消に向け、県と連携した取組を検討するほか、着地型観光の推進に向けた受入地域との連携や、世界ジオパーク認定に向けた霧島ジオパークとの連携も引き続き推進していただきたい。 また、④KPIについては、評価の妥当性を含めて改めて検証すべきである。	B										
基準値	目標値 (R8)	単位																											
(R2) 46.3	100.0	%																											
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																											
47.7	2.6%	c																											
19	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(2)ひとが集うまちなか環境の充実 ② まちなかのにぎわい創出・回遊性向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 89.4</td> <td>91.2</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>(R2) 9.0</td> <td>27.4</td> <td>万人</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>206</td> <td>日 (毎年度)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 89.4	91.2	%	(R2) 9.0	27.4	万人	-	206	日 (毎年度)	中心市街地の店舗のうち営業している店舗の割合 カゴシマシティビューの乗客数 「センテラス天文館(広場)」でのイベントの年間開催日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.1</td> <td>94.4%</td> <td rowspan="3">a</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>119.6%</td> </tr> <tr> <td>358</td> <td>173.8%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	91.1	94.4%	a	31	119.6%	358	173.8%	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の取組状況としては、にぎわい創出につながるイベント開催等の事業に取り組んだ商店街等への助成、まち案内活動、甲突川リバーサイドの利活用に取り組み、まちなかのにぎわいづくりを図った。また、利便性を向上した「かごりん」の供用開始のほか、ポートの増設及び台数の増加、照国表参道の歩行者天国、マイアミ通りの歩道空間を活用した社会実験、天文館通電停前アーケード整備支援、観光CRMアプリの活用等、まちなかめぐりの仕掛けづくりの取組を推進した。さらに、地権者の再開発に対する理解促進を図る勉強会の開催やコーディネーターの派遣、市街地再開発準備組合の設立や補助金の交付等、再開発等の取組を促進した。	まちなかのにぎわいの創出につながるイベント開催等に取り組む商店街等への支援や、鹿児島中央駅から天文館、本港区、さらに鹿児島駅までのエリアにおいて、来街者の様々な消費行動やまちの魅力を気づきにつなげ、にぎわいとゆとりある都市空間の創出を目指す歩いて楽しめるまちづくりなど、これまでの取組を引き続き進める。また、「かごりん」や観光CRMアプリ等について、利活用の促進を図る。これらの取組を通して、まちなかのにぎわい創出・回遊性向上を図る。	KPIについては、まちなかのにぎわい創出・回遊性向上に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、中心市街地を訪れる人の満足度を高め、まちなかのにぎわい創出・回遊性向上に資する取組を引き続き推進していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																											
(R2) 89.4	91.2	%																											
(R2) 9.0	27.4	万人																											
-	206	日 (毎年度)																											
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																											
91.1	94.4%	a																											
31	119.6%																												
358	173.8%																												

適応戦略1 ひと・まちを多彩に「つなぐ」

＜摘要＞KPIの評価
 a：十分に達成されている
 b：概ね達成されている
 c：あまり達成されていない
 -：評価なし

検証会議の意見
 A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)																				
20	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1) 人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進 ① 都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成	都市機能誘導区域内の大規模小売店舗(1,000㎡以上)の割合 公共交通の利用者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 33.6</td> <td>34.5</td> <td>%</td> <td>34.7</td> <td>122.2%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(R元) 6357.1</td> <td>5,720</td> <td>万人</td> <td>4993.3 *</td> <td>87.3%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 33.6	34.5	%	34.7	122.2%	a	(R元) 6357.1	5,720	万人	4993.3 *	87.3%	<p>KPIについては、「都市機能誘導区域内の大規模小売店舗(1,000㎡以上)の割合」は十分に達成されている。「公共交通の利用者数」は実績値がR4年度のものとなるため、評価対象外とした。</p> <p>R5年度の取組状況としては、立地適正化計画は、第二次かごしまマスタープランに基づく施策として居住環境向上施設の位置づけや、R2年の都市再生特別措置法改正を踏まえ防災指針を定める等、かごしまコンパクトなまちづくりプランの改定を行った。</p> <p>公共交通ビジョンの推進については、学識経験者や交通事業者、行政等で構成する推進会議を開催し、施策の進捗管理を行った。</p> <p>公共交通不便地等における交通手段の確保については、公共交通不便地において、コミュニティバス等の運行を継続するとともに、ポイントラリーを開催し、コミュニティバスの認知度向上及び利用促進を図ったほか、路線バスが廃止された地域(唐湊地域)を新たに乗合タクシーの対象地域に追加し、地域住民の交通手段を確保した。また、公共交通不便地における持続可能な交通手段の調査検討のため、谷山地域においてAIオンデマンド交通の実証実験を実施したほか、コミュニティバスの利用状況調査等を行った。</p> <p>これらの取組により、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成の推進が図られた。</p>	<p>立地適正化計画に基づくまちづくりの推進に向けては、かごしまコンパクトなまちづくりプランの実効性を確保するため、推進協議会や推進庁内会議を開催し、届出対応等による一定規模以上の住宅の建築等の動向把握を行うとともに、誘導施策の進捗管理を行い、プラン着実な推進を図る。</p> <p>公共交通ビジョンの推進に向けては、学識経験者や交通事業者、関係行政機関等で構成する協議会を開催し、これまでの事業の進捗管理や調整等に加え、地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、利便増進計画の策定(公共交通ビジョンの改定含む)に向けた基礎調査等を行う。</p> <p>公共交通不便地等における交通手段の確保に向けては、公共交通不便地における日常生活の交通手段を確保するため、引き続きコミュニティバスや乗合タクシー等を行い、利用促進に向けて周知広報等に取り組むとともに、公共交通不便地におけるAIオンデマンド交通の有料の実証実験を実施するほか、地域住民の意向調査等を行う。また、路線バスが廃止された地域において、乗合タクシーや廃止路線代替バスの運行を行うなどの取組を継続する。</p>	<p>KPIについては、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、コミュニティバスや乗合タクシーの運行計画について地元住民への丁寧な説明を行うとともに、人口推移の分析や事業効果の検証も十分に行いながら、交通網の連携・充実を図っていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 33.6	34.5	%	34.7	122.2%	a																				
(R元) 6357.1	5,720	万人	4993.3 *	87.3%																					
21	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1) 人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進 ② スtockマネジメントの強化	公共施設配置適正化計画に基づく事業完了施設数 危険空き家の解体への助成件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 7</td> <td>65</td> <td>施設</td> <td>18</td> <td>27.7%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>(R2) 31</td> <td>115</td> <td>件(5年間)</td> <td>47</td> <td>41.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 7	65	施設	18	27.7%	b	(R2) 31	115	件(5年間)	47	41.0%	<p>KPIについては、概ね達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、公共施設配置適正化計画に基づく、大規模改修等の事業が5施設で完了したほか、空き家等の対策の強化に取り組み、危険空き家の解体16件の助成を行った。</p> <p>多様な居住ニーズに対応する住環境の形成のために、庁外及び庁内の委員会を開催し、住生活基本計画を策定した。市営住宅については、建替えや改善においてバリアフリーに配慮するとともに、住戸の一部を子育て仕様住戸として整備した。また、民間住宅については、耐震改修工事やリフォーム工事の助成等を行った。</p>	<p>公共施設等の計画的な更新・長寿命化については、財政負担の軽減・平準化を図るため、公共施設配置適正化計画に基づく事業を計画的に実施するとともに、空き家等対策の強化については、空き家等対策計画に基づき取り組む。</p> <p>多様な居住ニーズに対応する住環境の形成については、庁内の推進委員会を設置し、住生活基本計画の施策を推進する。また、市営住宅の建替えや改善にあわせて子育て仕様住戸等を整備し、民間住宅については、引き続き補助等の取組を進めることで良質なストック形成の促進を図る。</p>	<p>KPIについては、ストックマネジメントの強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、公共施設の統廃合等を通じた維持管理費抑制や業務効率化に努めながら、公共施設配置適正化計画に基づく取組を進めるとともに、危険空き家の解体助成制度のさらなる周知を図っていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 7	65	施設	18	27.7%	b																				
(R2) 31	115	件(5年間)	47	41.0%																					
22	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1) 人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進 ③ 住宅団地の活性化	住宅団地の活性化に向けて地域主体で実施したまちづくり活動の件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 3</td> <td>36</td> <td>件(5年間)</td> <td>19</td> <td>52.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 3	36	件(5年間)	19	52.8%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、「かごしま団地みらい創造プラン」に基づき、対象の29団地に対して、地域住民等との意見交換や、具体的な支援を始めており、地域主体によるまちづくり活動へつなげることができた。</p>	<p>団地活性化の推進については、引き続き、庁内での連携を図りながら、対象団地における地域主体のまちづくりの実現に向けて、意見交換会、実践セミナー、ワークショップの運営支援、職員や専門家による助言等の支援を行う。</p>	<p>KPIについては、住宅団地の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、若い世代を交えたワークショップ等の取組を進めるほか、他団地における成功事例の横展開に向け、きめ細かな支援に取り組んでいただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 3	36	件(5年間)	19	52.8%	a																				

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)																				
23	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ① 住民主体の地域づくりの促進	地域コミュニティ協議会の活動への参加団体数 町内会加入率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 2,928</td> <td>3,100</td> <td>団体</td> <td>3,172</td> <td>141.9%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>(R3) 52.1</td> <td>52.9</td> <td>%</td> <td>52.0</td> <td>-12.5%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 2,928	3,100	団体	3,172	141.9%	b	(R3) 52.1	52.9	%	52.0	-12.5%	<p>KPIについては、概ね達成されている。</p> <p>町内会加入率については、減少傾向にあり、加入率が低い単身世帯の増加に伴う総世帯数の増加、転入者等の未加入や既存会員の退会等が要因として考えられ、あまり達成されていない。</p> <p>R5年度の取組状況として、地域コミュニティ協議会については、コミュニティ意見懇話会の報告書(R4)を踏まえ、現行の補助制度を見直し、本市が推奨する取組を推進するための新たな補助メニューを新設した。また、町内会については、各種加入促進及び負担軽減施策に取り組むとともに、各種補助制度を統合し簡素化を図ったほか、新たにデジタル活用促進補助金を創設した。</p> <p>さらに、デジタルツール活用支援講座の開催等により、多様な世代が地域活動に参加・参画しやすくなる仕組みづくりを支援した。</p> <p>5地域においては、R4年度に住民とともに策定した計画に基づき、イベントの開催や域内周遊の仕組みづくりなど個性豊かな地域づくりに向けた取組を実施した。</p>	<p>R6年度以降の取組として、地域コミュニティ協議会については、各協議会における事業の見直しや地域団体等との新たな連携等を推進し、地域の実情にあった更なる発展と充実に向けた取組を支援することにより、活力ある地域コミュニティづくりの推進を図る。</p> <p>また、町内会については、引き続き、若年層へのSNS広告の配信や不動産団体との連携による町内会への加入促進を図るほか、町内会におけるデジタルを活用した情報発信、運営の効率化による役員等の負担軽減や活動の見直し等の取組を支援することにより、多様な世代が地域活動に参加・参画しやすくなる仕組みづくりを推進する。</p> <p>5地域においては、R5年度の取組を検証し、より効果的な取組に昇華させることで、さらなる地域の活性化を図る。</p>	<p>KPIについては、住民主体の地域づくりの促進に向けて、概ね達成されている。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、町内会加入促進に向けて、若い世代が参加しやすい環境整備を進めるとともに、地域の年齢層に応じた周知方法を検討するほか、地域コミュニティ協議会活動への参加団体とも連携しながら、住民主体の地域づくりの促進に努めるべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 2,928	3,100	団体	3,172	141.9%	b																				
(R3) 52.1	52.9	%	52.0	-12.5%																					
24	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ② 市民との協働の推進	市民活動団体等との協働事業数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 482</td> <td>839</td> <td>件</td> <td>906</td> <td>118.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 482	839	件	906	118.8%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、「市民参画の推進」については、市民等へパブリックコメント実施の周知を行うとともに、市長と語る会を実施したほか、まちかどコメントーターの人数を増やし、市民の声を聴く機会を充実させた。また、大学や中学校において、市政に関する講義等を実施した。</p> <p>「市民やNPO等との連携及び活動の促進」については、市民活動団体の基盤強化を図るため、人材育成や多様な主体との連携を促進する講座を開催したほか、資金面での支援や活動に対する助言等を行った。また、職員の意識向上のための研修会を実施した。</p>	<p>引き続き、「市民参画の推進」及び「市民やNPO等との連携及び活動の促進」のための取組を継続していく。</p>	<p>KPIについては、市民との協働の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、NPO法人のフォローアップを行い、実効的な支援となるよう努めるとともに、小中学生の意見を反映する機会の提供も積極的に検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 482	839	件	906	118.8%	a																				
25	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ③ 多文化共生の推進	多文化共生事業への参加者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 1,938</td> <td>3,200</td> <td>人</td> <td>4,326</td> <td>135.2%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 1,938	3,200	人	4,326	135.2%	a	<p>KPIについては十分に達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、R4年度に策定した多文化共生推進指針に基づき、市職員向けの研修会や市民向けの講演会の実施、国際交流センターでの外国人相談デスクの運営等、多文化共生の地域づくりの推進に取り組んだ。</p>	<p>引き続き各種事業を実施し、多文化共生の地域づくりの推進に取り組む。</p>	<p>KPIについては、多文化共生の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、外国人の生の声を把握し、検証しながら、外国人にとって、居心地の良い、住みやすい環境づくりに努めていただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 1,938	3,200	人	4,326	135.2%	a																				
26	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3) 国内進 ① 国際交流の推進		<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 1,367</td> <td>2,120</td> <td>人</td> <td>2,632</td> <td>124.2%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	(R2) 1,367	2,120	人	2,632	124.2%	a	<p>KPIについては十分に達成されている。</p> <p>R5年度の取組状況としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中断を余儀なくされていた海外との往来を伴う交流も、規制緩和により活発化し、姉妹友好都市等との多彩な交流の推進や次代を担う国際性豊かな人材の育成に取り組んだ。このほか、国際交流センターを中心に国際理解等に関する各種事業・イベントを実施し、住民主体の国際交流活動の促進を図った。</p> <p>また、ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略は、戦略会議を開催して、進捗管理等を行った。</p>	<p>引き続き、姉妹友好都市等との多彩な交流や国際交流センターにおける各種事業・イベント等に取り組む、本市の国際交流の推進を図る。</p> <p>ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略については、戦略会議を開催して、進捗管理を行い、同戦略の推進を図る。</p>	<p>KPIについては、国際交流の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、今後増えることが予想される、若者の海外経験の機会を見据えた取組を推進するほか、実施による効果を踏まえながら、対面及びオンラインを組み合わせた交流も検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																				
(R2) 1,367	2,120	人	2,632	124.2%	a																				

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)														
27	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3) 国内外の都市との連携・交流の推進 ② 国内の都市との連携・交流の推進 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 30</td> <td>35</td> <td>事業</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 30	35	事業	連携中枢都市圏における連携事業数 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	35	100.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の実績状況としては、連携中枢都市圏の推進については、かごしま連携中枢都市圏ビジョンの適切な進行管理を行うことにより、圏域内の連携の着実な推進が図られた。 また、多彩な都市との連携・交流の推進については、各種連携事業を進めるとともに、新たに、神奈川県鎌倉市と文化・観光交流協定を締結し、交流人口の増加などを目的に、交流に取り組むこととした。	第2期かごしま連携中枢都市圏ビジョンに基づき、引き続き連携事業の効果的な実施に取り組むとともに、新たな連携事業の検討・協議を行い、更なる圏域経済の活性化や公共サービスの拡充を目指し、連携中枢都市圏の取組の着実な推進を図る。 また、連携都市との交流を引き続き進めるとともに、その他の都市との新たな連携・交流の可能性について引き続き検討を行う。	KPIについては、国内の都市との連携・交流の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、圏域内の住民の参加状況の把握に努めるとともに、相互に魅力を高める取組や交流人口の増加に向け、連携都市との交流に向け各方面から取り組んでいただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2) 30	35	事業																	
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																	
35	100.0%	a																	
28	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4) 移住の促進 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 79</td> <td>800</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 79	800	件 (5年間)	移住セミナー等における延べ面談件数 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>479</td> <td>59.9%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	479	59.9%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の実績状況としては、移住促進ポータルサイトの一部改修や、オンライン相談会・セミナーの開催、移住奨励金の交付など、本市への移住促進に努めた。 また、新たに移住定住サポーターを募集し、支援体制づくりに取り組むなど、各種施策に積極的に取り組んだ。	引き続き、移住情報の提供のほか、相談・受入体制や移住支援制度の充実など、移住希望者への多様なニーズに対応した支援に取り組み、本市への移住を促進する。	KPIについては、移住の促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、移住希望者のニーズ把握と移住後のフォローアップ体制の充実を図るほか、新型コロナウイルス感染症収束後の社会に対応できるよう、移住要因を分析するとともに、本市の魅力や住みよさ等地域特性を、積極的に発信していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2) 79	800	件 (5年間)																	
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																	
479	59.9%	a																	

重点戦略

＜摘要＞KPIの評価
 a：十分に達成されている
 b：概ね達成されている
 c：あまり達成されていない
 -：評価なし

検証会議の意見
 A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)																			
29	(1) “世界に 選ばれるまち KAGOSHIMA”推進プロ ジェクト	(1) インバウンド対応の強化 (2) MICEの積極的な誘致 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 6.5</td> <td>60</td> <td>万人</td> </tr> <tr> <td>(R元) 30,700</td> <td>33,000</td> <td>円/人泊</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 6.5	60	万人	(R元) 30,700	33,000	円/人泊	外国人宿泊観光客数 1人1泊当たりの外国人観光消費額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21.7</td> <td>28.4%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>30,700</td> <td>元年度実績</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	21.7	28.4%	b	30,700	元年度実績	KPIについては、概ね達成されている。 これは、水際措置の終了や鹿児島空港国際線が段階的に再開されたことなどによるものである。「1人1泊当たりの外国人観光消費額」は実績値がR元年度のものとなるため、評価対象外とした。 R5年度の取組状況としては、インバウンド対応の強化については、台湾・香港・韓国の個人旅行者向けのデジタルプロモーションや世界水泳等の開催にあたり、広域連携による観光プロモーション等を展開したほか、成田国際空港でのブース出展、夜間等における観光コンテンツの創出に向けたナイトタイムエコノミーの実証実験等を行った。また、ムスリムやベジタリアン等食の多様性に対応するための支援、民間事業者やまち歩きボランティアガイドの英語力・コミュニケーション力向上を図るための講座の実施、大型クルーズ船の誘致や受入体制の整備に取り組んだ。MICEの積極的な誘致については、大都市圏や台湾での誘致セールスや開催補助金を交付したほか、修学旅行のさらなる誘致を図るため、誘致セールス等を行うとともに、SDGsを取り入れたプログラムの造成を支援した。	“世界に選ばれるまち KAGOSHIMA”の推進を図るため、引き続き、インバウンド対応の強化やMICEの積極的な誘致に向けた取組を進める中で、新たに大阪・関西万博を契機としたプロモーションやGoogleマップを活用した飲食店や宿泊施設等の多言語対応、情報発信の支援、滞在時間延長等につながる観光コンテンツの情報発信等に取り組む。	KPIについては、インバウンド対応の強化等に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症収束後の消費活動傾向・分析を踏まえ、受入体制や対応の強化を図るとともに、オーバーツーリズムやサービス業の人手不足などの課題にも早期に取り組んでいただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R2) 6.5	60	万人																						
(R元) 30,700	33,000	円/人泊																						
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																						
21.7	28.4%	b																						
30,700	元年度実績																							
30	(2) “次代につなぐ ふるさと担い手”創出プロジェクト	(1) ふるさと教育の推進と大学との連携強化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27～R元 小6 +1.3 の平均) 中3 +2.8</td> <td>小6 +2.7 中3 +6.0</td> <td>ポイント</td> </tr> <tr> <td>(R2) 7</td> <td>100</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(H27～R元 小6 +1.3 の平均) 中3 +2.8	小6 +2.7 中3 +6.0	ポイント	(R2) 7	100	件 (5年間)	「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合の全国との比較 大学との新規連携事業・取組数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6 -2.8 中3 -7.9</td> <td>-313.6%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	小6 -2.8 中3 -7.9	-313.6%	b	60	60.0%	KPIについては、概ね達成されている。 R4年度の状況調査において、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合が全国と比較して低くなった理由として、コロナの影響で、校区運動会や敬老会、各種季節行事などの地域行事が縮減されたままの状況にあることが要因として考えられる。 R5年度の取り組み状況としては、地域人材等の授業への参画、職場体験活動については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、回数や期間を制限しての実施であったが、各学校で工夫し、活動内容の充実を図りながら取り組むことができた。 「かごしま創志塾」・「ジュニア創志塾」では、国内外で活躍している講師や郷土出身の著名人による講話、郷土に関するフィールドワーク、ALTとの交流などの実践的体験活動や学習活動を通して、郷土教育やグローバルな視野を広げる学習の充実が図られた。また、同窓会を開催することで、ネットワーク体制が再構築され、「ふるさと・鹿児島」への誇りと愛着心の持続化が図られた。 「まちづくり提言の機会の創出」については、まちづくり人材育成連携事業の中で、3大学(鹿児島大学、志学館大学、鹿児島純心女子短期大)、届けよう！わたしたちが考えるかごしま市政事業の中で、3中学校(鴨池中、西陵中、明和中)の学生が、学校内で発表するとともに、市長に対して提言発表・意見交換を行い、まちづくり提言の機会を創出することができた。 各大学との連携事業・取組については、各大学の特色や若い世代のアイデアを生かした取組を展開することができた。 また、「まちづくり“未来の担い手”育成事業」として、市内学生を対象に課題解決型ワークショップを実施し、地元で活躍する社会人との対話や提言作成等を通じて、学生の社会への関心や課題解決力を高め、将来のまちづくりを担う人材育成につなげることができた。	郷土教材の活用や地域人材等の授業への参画、職場体験活動については、対面・オンラインそれぞれのメリットをふまえてハイブリットでの実施を検討し、小学校から高等学校までの各ステージに応じた教育活動をさらに充実させていく。併せて、「ふるさと・鹿児島」への誇りと愛着の心を育む取組を引き続き進める。 「かごしま創志塾」・「ジュニア創志塾」については、引き続き魅力あるプログラムを提供するとともに、関係機関・団体等と連携し、深まりのあるプログラムの充実に努める。また、卒業生を具体的な活動の場で活用するため、定期的なSNS等を活用した情報発信を行うとともに、卒業生相互のつながりづくりに向け、オンラインを活用した同窓会の実施を検討する。 引き続き、大学及び中学校において、市政に関する講義等を実施し、学生の市政への関心や理解の促進を図るとともに、本市課題に対する提言発表・意見交換などを通して、市民参画意識の醸成・若い世代の地元志向の向上や共創のまちづくりに資する人材育成を図る。 また、大学等の特色を生かした共同研究や学生のまちづくりへの関心を高める取組など、引き続き、さまざまな分野において、各大学との連携事業・取組の充実を図る。	KPIについては、ふるさと教育の推進と大学との連携強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、市政に関する講義等の開催を通じて、引き続き「まちづくり」「地域づくり」の課題解決に取り組むなど、地元で活躍できる人材育成に取り組むほか、本市と大学との連携に加え、国や県、民間とも連携した取組も検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(H27～R元 小6 +1.3 の平均) 中3 +2.8	小6 +2.7 中3 +6.0	ポイント																						
(R2) 7	100	件 (5年間)																						
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																						
小6 -2.8 中3 -7.9	-313.6%	b																						
60	60.0%																							

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗状況等 (R5)	今後の方向性(考え方)																				
31	(2) “次代につなぐ ふるさと担い手” 創出プロジェクト	(2) 関係人口の創出・拡大 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 3,629</td> <td>80,000</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 3,629	80,000	人	首都圏等における体験機会となるイベント等への参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34,164</td> <td>40.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	34,164	40.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の取組状況としては、民間事業者等との連携を拡げながら、SNSや各種イベント等の活用により、本市の魅力を生内外に発信し、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成、首都圏の若者等の本市との関係性の深化を図った。	引き続き、市民や事業者、本県出身者等と連携を深めながら、首都圏等の若年層へのターゲットングや、SNS、各種イベント等の効果的な活用により、本市イメージの向上や関係人口の創出につなげる。	KPIについては、関係人口の創出・拡大に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、首都圏の若者等をターゲットとし、SNS等による効果的な情報発信を充実させるほか、イベント等への参加者について、関係人口の創出・拡大につながる要因も検証しながら取り組んでいただきたい。	A						
基準値	目標値 (R8)	単位																							
(R2) 3,629	80,000	人																							
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																							
34,164	40.0%	a																							
32	(3) “デジタル技術で豊かなまち” 創造プロジェクト	(1) 地域産業の生産性向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 1</td> <td>15</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> <tr> <td>(R2) 16</td> <td>65</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 1	15	件 (5年間)	(R2) 16	65	件 (5年間)	ICT関連企業の立地協定件数 スマート農林水産業関連技術の導入件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>53.3%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>72.3%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	8	53.3%	a	47	72.3%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R5年度の取組状況としては、中小企業者のICT等活用に対する支援として、専門家の派遣やICTツール導入助成、ECサイトの立ち上げ等に対する助成を行った。 また、ICT関連企業の立地に関しては、市内や首都圏のICT企業を訪問し、本市の立地環境や補助制度等の説明を行ったほか、プレスリリース配信サービス(PRTIMES)や、広告の掲出、首都圏における展示会への出展により、本市の立地環境や補助制度をPRし、ICT関連企業の立地に取り組んだ。 ICT関連産業の振興にもつながるよう、クリエイティブ産業創出拠点施設マークメイザンにおけるエンジニア向けのセミナーやWEBクリエイター等の交流・マッチングイベントの開催等を通じて、クリエイティブ人材の育成やコミュニティ形成に取り組んだ。 さらに、R5年度から新たに実施した未来のICT人材育成事業により、若い世代のICT関連産業に関する意識啓発と市内ICT関連企業の認知度向上が図られ、将来的なICT人材の育成と地元定着の促進につながった。 スマート農林水産業の推進については、説明会・研修会及び先進事例調査を実施し、農業者の理解促進と意識醸成が図られたほか、現地実証事業や現地検討会を実施し、生産者のほ場において、スマート農業技術の実証を行い、その効果等を整理・検討した。R5年度より、効果が認められた機器について、導入支援を開始した。	引き続き、中小企業のICT等活用に対する支援として、専門家による伴走支援をさらに充実させ、ICTツール導入の促進を図るとともに、ECサイトの立ち上げ、デジタル広告を活用した広告宣伝に係る経費等に対する助成を行う。 ICT関連企業の立地に関しては、引き続き積極的な企業訪問等を行い、補助制度や都市の魅力など本市の強みをPRし、企業立地のさらなる推進を図るとともに、フォロー訪問による情報交換等を通じて状況把握や雇用確保への支援を行う。また、連携中枢都市圏の構成市及び県との連携を図りながら企業立地を推進する。 また、ICT関連産業の振興にもつながるよう、マークメイザンにおける取組や未来のICT人材育成事業を継続すること等により、引き続き、人材育成に取り組むほか、エンジニアやクリエイター等のコミュニティを生かしたマッチング機会の提供等に取り組んでいく。 スマート農林水産業の推進については、スマート農業の研修会や先進地事例調査等を実施することで、農業者の理解促進と意識醸成を図るほか、生産者のほ場において、スマート農業技術の実証を行い、その効果等を整理・検討し、効果が検証された機器について、導入支援を行っていく。	KPIについては、地域産業の生産性向上に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、ICTツールの導入等に係る財政的支援のみならず、ソフト面を含みきめ細かな支援を行うなど、生産性向上に向けた取組を推進していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																							
(R2) 1	15	件 (5年間)																							
(R2) 16	65	件 (5年間)																							
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																							
8	53.3%	a																							
47	72.3%	a																							
33	(3) “デジタル技術で豊かなまち” 創造プロジェクト	(2) 市民生活の利便性向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4</td> <td>小6 +2.0 中3 +2.0</td> <td>ポイント</td> </tr> <tr> <td>(R2) 29,441</td> <td>43,000</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4	小6 +2.0 中3 +2.0	ポイント	(R2) 29,441	43,000	件	授業でコンピュータなどのICTを「ほぼ毎日」使用したと回答した児童生徒の割合の全国との比較 電子申請利用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R5)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6+1.9 中3-15.6</td> <td>-451.6%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>78691 件</td> <td>363.2%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)	小6+1.9 中3-15.6	-451.6%	b	78691 件	363.2%	KPIについては、全体としては概ね達成されているが、中3の実績値が目標を下回っている。対象としている本市の回答割合の値は年々上昇しているものの、それ以上に全国の値が上昇していることが主な原因と考えられる。 R5年度の実績値としては、教員のニーズを把握した上で、ICT支援員等による授業支援や指導主事等による校内研修等を行い、教員のICT活用指導能力及び児童生徒の情報活用能力の向上を図った。 また、地域におけるスマートフォン講習会等を実施したほか、行政手続のオンライン化については、計画的に新たなオンライン化を推進し、利用件数に関する目標値も十分に達成されている。 これらの取組により、ICTによる市民の利便性向上が図られた。	デジタルドリルの活用やタブレット端末の持ち帰りも進んでいることから、今後も引き続き、児童生徒が情報機器端末を日常的に活用していけるよう、指導主事やICT支援員等による支援や研修の充実を図る。 また、全世代におけるICTリテラシーの向上に向けた講座等を継続するとともに、「行かなくてもよい市役所」の実現に向けて行政手続のオンライン化をさらに推進する。	KPIについては、市民生活の利便性向上に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、研修等により教員のICT活用指導力などの向上を図るほか、情報リテラシー教育の充実を図り、個人情報の取扱いやトラブルの未然防止、発生時の対応など十分な対策を行っていただきたい。	A	
基準値	目標値 (R8)	単位																							
(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4	小6 +2.0 中3 +2.0	ポイント																							
(R2) 29,441	43,000	件																							
実績値 (R5)	対目標値	評価 (R5)																							
小6+1.9 中3-15.6	-451.6%	b																							
78691 件	363.2%																								